

瑞巖山円光寺ずゐがんさんゑんくわうじ 〔一乗寺村天王の東二町許にあり。禅宗南禅寺なんぜんじに属す。本尊千手観世音、運慶うんけいの作、坐像二尺余なり〕

東照宮とうせうぐう 〔当寺東の山上に御鎮坐し給ふ、中興三要和尚さんえう御勸請し奉る所なり。御宮殿白木造りにして壯麗なり、委は名跡志に見へたり〕

抑当寺は野州足利やしうあしかの学校を慶長六年台命を蒙り伏見ふしみの指月しげつに移し、其後相国寺しやうこくじの内につし、又寛文中此地に移す。中興の祖は三要和尚さんえうなり。法嗣を耳峰の禅師に受、足利学校の第九世なり。又印板植字十万字、朝鮮てうせんの書籍二百部、台命によつて御寄附あり。又三要和尚さんえうに命じ給ふて都鄙の国学を掌らしむ、故に洛陽の学校と称す。当寺の御建立は御代の最初とぞいひ伝ふ。〔今の世に力者大物を牽動す音頭に、三要々々といふ事当寺より起れりとなり。又客殿の庭中山水の美観絶勝にして真妙なり〕

慶長乱後記林道春云 足利学校は参議たかむらの建立、我国庠序にして書生受業の旧館なり、社領二百五十石あり。近代九禾老人くわ、次に宗銀そうぎん講誦す、太閤の時儒法漸く廢れて、相国寺しやうこくじの円光寺ゑんくわう倍長老と云此社を持たり。云々。

葉山觀音堂 はやまくわんおんだう 〔円光寺の良三町ばかりにあり、林丘寺御所の御抱所なり。本尊馬頭觀音、坐像一尺八寸。又傍に茶

亭あり臨江亭と額あり〕

松垣塔 〔觀音堂の少し山下にあり、三重、高さ五尺、太古雅にして名器なり〕

坐禪石 〔其傍にあり、由縁詳ならず〕

葉山觀音 はやまくわんおん